



特集

職場体験で見つけたこと

— 中学生広報日記 —



職場体験で学ばいこ

松浦市内の全中学校では、職場体験学習に取り組んでいます。

生徒たちは、市内のさまざまな事業所に向いて2～3日間の職場体験を行います。

生徒たちは、初めて学校から社会へ出て、大人たちから指導を受けながら自ら「働く」ということを学びます。そして、自分自身と向き合い、将来について考えることとなります。

働く人との触れ合いや交流を通して、異世代とのコミュニケーション能力を高めるとともに、社会人としての基本的マナーや言葉遣いなどを身に付けることができます。

また、自分が住むまちの産業や働く人のことを知ることができ、地元への誇りや郷土愛を育てることにもつながります。

松浦市役所には、6月23～25日に調川中学校から1人、7月1～3日に志佐中学校2人と今福中学校から2人の生徒たちがやって来ました。

今回は、市役所に来た5人のうち、3人の生徒が市報作りを体験しました。広報業務を体験しながら市役所の仕事を知り、日ごろ目にするのではない市内のさまざまな催事を取材しました。

また、彼らと同じように、市内の事業所で職場体験を行う生徒たちを、取材する側から見ることができました。

職場体験を通して、3人の中学生が実際に取材して聞いたこと、感じたことを、それぞれ記事にまとめました。



1日目は、子育て・こども課で3歳児健診の仕事を経験しました。記念の手形を取る手伝いや絵本の読み聞かせに挑戦しました。
2日目・3日目は政策企画課で市報制作に取り組みました。初めて操作する一眼レフカメラに戸惑いながらも、いい写真が撮れました。パソコン操作にも慣れて、自分の言葉で文章を作り、レイアウトも考えました。

- 1 市長と名刺交換
名刺の渡し方を学びました。
- 2 「3歳児健診」
絵本の読み聞かせに挑戦。
- 3 「お寄りませ」取材
初めてのカメラに挑戦。
- 4 市報作成
写真を整理し、市報の原稿を作成。



バウンドテニスを楽しもう！

平成28年10月に長崎県で「ねりんピック長崎2016」が開催されます。

大会に向けて6月24日、松浦スポーツセンターで「バウンドテニス講習会」があり、参加しました。

普段ソフトテニスをしていますが、それと比べるとコートが狭かったり、ボールやラケットが小さく、難しかったです。バウンドテニスは60歳以上を対象にしていますが、みんな若くて、笑い合い、とても楽しそうに競技を行っていました。

指導に来ていた講師は、すごく上手で分かりやすい説明をしていました。

※篠原 亮^{りょう}さん（調川中3年）が作成しました。

周りの人たちはみんな仲が良く、このような触れ合いの場としてもいいなあと思いました。バウンドテニスでは、松浦の人が活躍してくれると思います。



職場体験がんばります！

マルコボデーで6月25日、職場体験を行っている調川中3年の吉永貴津^{きつな}さんと水田蓮^{れん}さん取材しました。

マルコボデーでは、洗車やタイヤの交換、ブレーキを磨いたりしました。

体験していた水田さんと吉永さんは、「職場の皆さんは優しく、明るい雰囲気とても楽しく体験をすることができました」と話しました。普段体験することのできないことをたくさんできて、とてもいい経験になりました。



みんなで楽しく集います

つきの川ほっとステーション『お寄りませ』では、高齢者の皆さんがいつまでも元気で過ごせるように、サポーターの人たちが、ペットボトルを使ったボーリングや輪投げ、なぞなぞなどのとても楽しい、レクリエーションをしたり、おいしい昼食を作ったりしています。

高齢者の皆さんは、一人暮らしが多くこの『お寄りませ』での会を楽しみに待っているそうです。

松浦市では高齢者が年々増えているので、このような会を開いていくのはとてもいいことだと思います。

